

ネイパル砂川

# ウィンターカップ in 砂川

～新たな出会い・発見・挑戦～

## 1 事業のねらい

- ・【大学生】主体的に事業の企画・運営に取り組むことを通して、次世代の社会教育に携わる人材を育成する。
- ・【小学生】雪遊びの楽しさに直接触れて、思い出に残る活動を通し子どもたちの将来に生きる知識や基礎体力を身に付ける機会を提供する。

## 2 事業の概要

- 期日 R7.2.23(日)～24(月) 1泊2日
- 対象 小学3～6年生
- 人数 参加者51名
- 場所 ネイパル砂川
- 企画・運営 北翔大学学生18名

## 3 プログラム

23 日 (土)	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
						12:30 受付	出会の集い	アイス ブレイク	宝探し 雪合戦	休憩	夕食	スノーキャ ンドル作り	入浴	消灯		
24 日 (月)	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00										
	起床	身支度	朝食	部屋 清掃	キック ベース	別れの集い	12:00 解散									

## 4 ねらいを達成するための活動の工夫

### ■学生主体の事業運営

- ・うまくいかない部分も学生の学びと考え、指導をしすぎないようにし、学生の主体性を大切にしながら自分たちの力で事業を運営する楽しさや楽しさを感じることができるようになる。

### ■雪遊びを通じて、大きく体を動かす

- ・2日間を通して、スノーキャンドルや雪合戦などほぼすべての活動を屋外で行う。雪で形を作ったり雪の上で運動したり、多様な方で雪遊びの楽しさを感じさせる。



学生主体の事業運営



雪合戦の様子



スノーキャンドル作り

## 5 事業の評価

- 【大学生】事前・事後のアンケートの結果から、すべての項目でポイントの上昇が見られた。参加した学生は「事業の企画から取り組むことで準備の大切さが理解できた。また、仲間を頼ることで物事が円滑に進むことが実感できた。」と話をしていった。

項目	事前	事後
物事に進んで取り組むことができる	5.00	5.33
他人に働きかけ巻き込むことができる	4.67	5.00
目的を設定し、確実に行動することができる	4.94	5.17
現状を分析し目的や課題を明らかにすることができる	4.78	5.17
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備することができる	4.94	5.00
既存の発想にとらわれずに、課題に対して新しい解決策を生み出すことができる	4.56	4.89
自分の意見をわかりやすく人に伝えることができる	4.72	4.50
相手の話しやすい環境を作り、相手の意見を引き出すことができる	4.61	5.06
自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解することができる	5.06	5.17
チームで仕事をすると、自分がどの役割を果たすべきかを理解できる	5.24	5.56
社会のルールや人との約束を守ることができる	5.39	5.72
ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉え、対応できる	5.39	5.33

- 【小学生】「雪合戦で壁に隠れて投げるのが楽しかった」「たき火で焼いたマシュマロがおいしかった」など、大学生との触れ合いを通じ、思い出に残る活動となったと考える。

## 6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 学生が主体的に企画・運営を行うことにより、社会人基礎力の向上が見られた。
- 2日間を通して外での雪遊びをたくさん行うことにより、参加者の基礎体力の向上につながったと考えられる
- 事業当日に必要な物品などの確認事項が多かったため、事前に十分な打合せ、確認を行いスムーズな事業運営となるよう助言をする必要がある。



### 企画のポイント

学生の企画に指導  
助言を行い、より良  
い事業にできるよう  
サポートする。